

東部保健医療圏病床機能報告推移（12病院一般病床・療養病床）

(表3) 東部保健医療圏病床機能報告(病院のみ) (床)

	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期
平成27年7月1日	405	1,103	229	908
平成28年7月1日	119	1,307	273	920
平成29年7月1日	115	1,261	323	920
平成30年7月1日 確定値	103	1,168	378	920
平成31年3月現在 (市保健所推計値)	119	1,248	332	825
2025年(平成35年) (鳥取県参考値※)	218	740	699	586

※【参考】2025年(鳥取県参考値)について
(鳥取県地域医療構想から一部修正して抜粋)
地域医療構想による2025年の必要病床数は、いずれの構想区域、医療機能についても、医療機関所在地ベースの医療需要で病床数を推計することとなりました。
地域医療構想策定のガイドラインによれば、平成37年(2025年)における病床数の必要量は、医療需要を病床稼働率(高度急性期75%、急性期78%、回復期90%、慢性期92%)で割り戻して求めることとなっています。

図3-1 東部保健医療圏病床機能報告(病院)推移

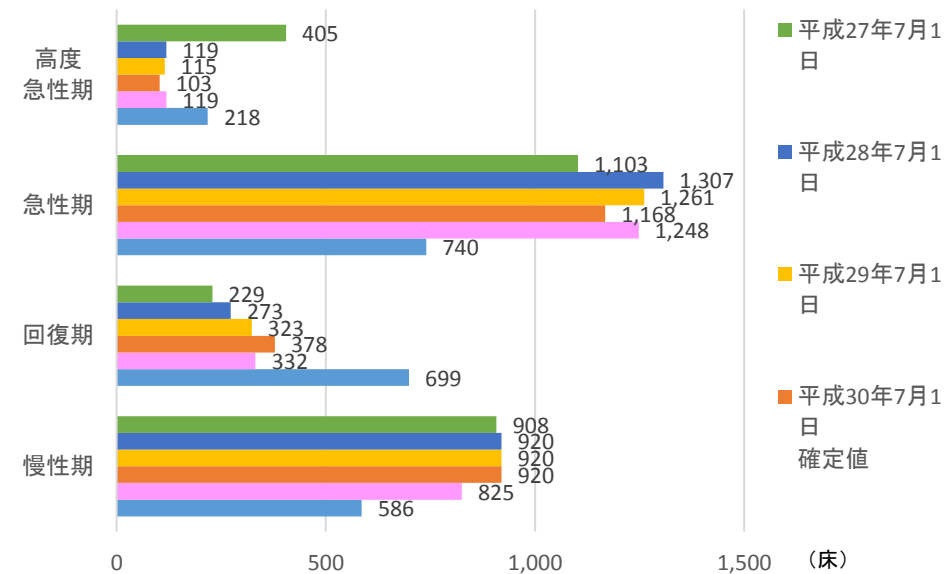


図3-2 病床機能報告と地域医療構想参考値との比較

